科目名 Subject	美容芸術文化史 History of Aesthetics and Art Culture		教員名	ヘアチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	△	○	△	△
科目の概要	美容の文化の歴史を学びます。 美容文化は、人の一生において大きな役割を担います。 各時代が作り出す美容はどのようなものだったのか。 西洋と日本のヘアスタイル、ファッション、メイクアップをはじめとする美容の文化と理・美容業について、美的感覚の変遷とその文化の理解を深めながら、美的教養を備えた人を目指し、多彩な芸術作品を見聞し表現することで美的感性を養います。				
授業の目標	西洋・日本のヘアスタイル、ファッション、メイクアップなどの美的原理、あり方などを学びます。 各時代の様式美を理解する過程において、自らの手で表現しながら発想力をも身に付け、国際人として活躍できるよう、美齢学の一部として知識を習得できるようになることを目標とします。 また、国家試験筆記科目として合格のための対策も行います。				
時間外学習 （予習・復習）	タブレットに毎回資料が配られます。授業前に各時代の概要を確認して授業に臨みましょう。（約60分程度） また、授業後は受講した美容文化に関する書籍、文献をタブレットや本学図書館などで調べ（約60分程度）、展覧会やギャラリー、他大学での研究会、芸術鑑賞等、自主的に学ぶことを推奨します。				
教科書・教材	教科書	美容文化論（（公財）日本理容美容教育センター　発行）			
	教材	適宜プリントを配布します。			
	使用設備・備品	スライド、タブレット等			
	参考文献				
評価方法	小テスト、課題レポート、授業中の提出物、授業に対する意欲を総合的に評価します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
履修上の注意	授業の出席状況・授業態度・各授業における課題の提出・小テストを重視します。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 西洋Ⅰ（古代）の文化を学ぶ	文化史を学ぶ上での心構えと、古代エジプト、ギリシア、ローマの時代様式と美容のあり方を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第２回	西洋Ⅱ（中世）の文化を学ぶ	ビザンティン帝国、中世の時代様式と美容のあり方を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第３回	西洋Ⅲ（近世）の文化を学ぶ	ルネサンス（イタリア・イギリス）、バロック、ロココの時代様式と美容のあり方を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第４回	西洋Ⅳ（近代）の文化を学ぶ	フランス革命期、19世紀、20世紀初頭の時代様式と美容のあり方を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第５回	西洋Ⅴ（現代）の文化を学ぶ	第一次世界大戦後、20世紀、2000年代の時代様式と美容のあり方を理解できるようになる	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第６回	まとめ 小テスト	西洋を振り返り、それらをキーワードとして、今後の美容のあり方を推察し、表現できるようになる。	事前にタブレットや資料で授業内容を振り返る。
第７回	日本Ⅰ（大陸文化・古代）の文化を学ぶ	大陸文化がどのようにして日本の結髪・風俗文化に影響を与えたかを理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第８回	日本Ⅱ（中世）の文化を学ぶ	飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町時代の結髪風俗文化を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第９回	日本Ⅲ（近世）の文化を学ぶ	戦国・安土桃山・江戸時代初期の結髪風俗文化を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第１０回	日本Ⅳ（近世）の文化を学ぶ	江戸時代後期の結髪風俗文化を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第１１回	日本Ⅴ（近・現代）の文化を学ぶ	明治以降の結髪風俗文化を理解できるようになる。	事前にタブレットで授業内容を確認。授業時にそれをもとに課題を作成し、終了後は内容を復習。
第１２回	まとめ 小テスト	日本における結髪風俗文化を振り返り、それらをキーワードとして、日本の伝統文化を表現できるようになる。	事前にタブレットや資料で授業内容を振り返る。
第１３回	ポートフォリオ制作	西洋および日本文化への理解を基に、様式美を美齢学の一部として考察し、ポートフォリオにまとめることができる。	事前にタブレットや資料で授業内容を振り返り、作品制作に臨む。
第１４回	プレゼンテーション	作成したポートフォリオのプレゼンテーションを通して、学生間で表現や作品についての相互評価を行うことができる。	作成した作品をもとに、発表内容を調整する。
第１５回	現代の日本髪について	現代の日本髪の展示から日本文化の理解を深めることができる。	事前にタブレットで授業内容を確認。終了後は文化史を振り返る。